

2023年6月1日から2024.5.31までの  
国会請願国賠署名、同盟員拡大到達表 2024.4.1現在

支 部	国賠署名		同盟拡大	
	目 標	到 達	目 標	到 達
岡 山	7,000	1,888	200	237
備 南	2,500	491	80	58
美 作	800	665	50	33
玉 野	700	305	20	14
県 計	10,000	3,349	350	343

三月一二、一三日の重税反対集  
会に治安維持法国賠同盟は岡山支  
部が瀬戸、西大寺会場に。備南支

「治安維持法体制」の再現を許さない闘いを  
国会請願署名の目標達成を！

県本部事務局長 福井正樹

部は倉敷、児島、玉島の各会場に  
参加して国賠署名に取り組みまし



岡山県版  
No. 336  
2024年4月15日  
治安維持法犠牲者  
国家賠償要求同盟  
岡山県本部  
〒710-0131  
倉敷市天城台  
4-7-12 福井方  
振替 01300-4-99361  
mail : family-fukui@  
khf.biglobe.ne.jp

米国の戦争戦略のなかでの  
『治安維持法体制』の再現を許すな！



国会請願署名の支部目標達成へ  
さらにもう一回り広げよう

美作支部 中西 孝

美作支部は二月末の署名到達  
一九九筆を三月末には六六五筆と  
四六六筆前進させ、目標の八〇〇  
筆到達が視野に入りました。これ  
は津山民商から二一〇筆の署名が  
届けられ、3・13重税反対集會な  
どでのとりくみも合わせ五二二筆

となり、その後津山医療生協労  
組から九一筆、高教組津山高校分  
会から五二筆寄せられ、到達した  
ものです。支部役員会では5月15  
日の国会請願までに何としても支  
部目標を達成しようと話し合っ  
ています。

た。署名は倉敷で三三筆、児島は  
三〇筆、玉島二五筆寄せられまし  
た。岡山支部は瀬戸会場できりく  
み、「金権政治許すな」の署名と  
国賠署名を集め、四〇筆。西大寺  
は二七筆。津山民商はこの取り組  
みで二一〇筆の署名を届けてくれ  
ました。真庭の集會でも取り組ま  
れています。

県本部は岡山支部を中心に団  
体、会員への要請行動を強め、一  
目で「国賠署名の意義と目的」が

解る「署名推進袋」をつくり、団  
体、個人に渡し、お願いをする取  
り組みを強めています。岡山医療  
生協労組は二六筆増で六〇〇筆を  
超え、県高教組も二八筆寄せられ、  
重税反対集會は5力所で三八六の  
署名集め、三一七五筆となりました。  
もうひと周り友誼団体、会員  
に署名協力を呼びかけましょう。

五月一五日の五〇回目の国会請  
願行動に向け、署名目標達成へ頑  
張ります。

# 映画「武器なき斗い」を観て

岡山支部 赤沢おさむ

社会派監督として名を馳せた山本薩夫の「武器なき斗い」がコムコム別館で上映されました。

この映画は「治安維持法改悪」に命賭けて闘い、右翼に刺殺された労農党代議士「山本宣治の生涯」を描く映画です。

「山宣暗殺」は一九二九年三月五日のことで九五年前。今も全国各地の「山宣」ゆかりの地で「山宣祭」が開催されています。

彼は年少の頃、病弱で草花を愛し、造園に魅せられ、カナダで働き、三高、東大で生物学、性科学

女性部  
だより

## 「武器なき斗い」山宣について

女性部 柚木康子

「山本宣治」の名はおぼろげに父母の話しから覚えていました。

高校生の頃と思います。大正から昭和の時代に権力の弾



山宣ひとり孤塁を守る  
だが私は淋しくはない  
背後には大衆が支持してゐるから

庄に屈せず闘い、家庭的な方で生物学者、「ジェンダー」の視点をしつかり持った方。そこから労働者、農民の闘いに身を投じ、そして戦争反対のため命を賭けて闘う姿。六〇年も前につくられ映画とは思えません。良かった。

を研究して「産めよ、増やせよ」の国策に抗って「貧乏人の子だくさん」に苦しむ労働者や女性に「産児制限」の啓発活動を展開します。山宣の活動はここから社会変革と政治活動へと発展し、彼は労農党から代議士に当選します。

「治安維持法」は高まる労働者、農民の闘いに恐怖した天皇制権力が暴力で弾圧するための法律です。そこへ「死刑」と「目的遂行罪」を加えた改悪が「天皇勅令」で発布され、その事後承認が問われる

国会での「山宣」の孤軍奮闘を見事に描いています。

「山宣」は国会で「治安維持法改悪反対」の演説はできず、その夜、常宿の神田・光栄館で権力が使った暴漢に刺殺されます。

「実に今や、階級的立場をまもるものは唯一ひとり。山宣一人孤塁を守る」。

私など赤面の思いです。現在、山宣の志を受け継ぐ同志は全国に存在します。当時と似通った情勢の今日。価値ある一遍です。

## 赤磐市「市田忠義副委員長と党を語る集い」で「国賠署名」の呼びかけ

岡山支部長 河井伸士

三月二〇日に赤磐市で開かれた「党を語る集い」に参加。作東町の元町議さん、吉永町の元町議さん、赤磐市委員長さんなど久しぶりにお会いできて良かったです。赤磐市は二人の女性市議さんで会場も女性が圧倒していました。入党決意者が出ると「わっ」という歓声と拍手。国賠署名を廻すと快く署名してくれ二筆集まりました。



倉敷民商弾圧事件 第5回差し戻し審  
明るみになる “権力が主導した冤罪”

倉敷市

小山和正

三月二六日に開かれた第五回目的地差し戻し公判は雨の中を県外、県内から一九〇名を超える支援者。九〇席の傍聴席は満杯で入廷できなかった支援者は近くの理容会館で集会。

公判は検察側証人の木嶋輝美氏。彼は江見地裁裁判長が鑑定書として採用した「国税査察官報告書」を提出した人物。この日の弁護士尋問では五輪建設のさまざまな会計事務につけこみ、脱税事件を「でっち上げ」たが「襦屋さんは事件の参考人」であり、「判断は公安と検察に任せた」と証言。初めから県警公安部、検察が国税とタッグを組み、倉敷民商への弾圧を企てた権力犯罪であることが明るみに。

三三万筆の署名が裁判所を包囲  
3時間を超える公判を終えて帰ってきた傍聴者の顔は紅潮していた。弁護士は報告の中で「裁判



は確実に潮目が変わっている」と断言。そして弁護士は「法廷外の支援の広がり」に弁護士は励まされ、月2回の地裁要請、そして三三万筆もの署名が今、裁判所を包囲している」と報告。  
「冤罪」をでっち上げた権力。その背後に「戦争をする国へ」暴走する岸田政権の「影」がちらほら・・・。

岡山県で最初の日本共産党衆院議員  
「苅田アサノさんを偲ぶ集い」

「伊藤千代子の時代」を闘った治安維持法犠牲者、

美作支部 中西 孝

三月九日、日本共産党と党後援会が呼びかけた、「岡山県で初の共産党国会議員となった苅田アサノさんを偲ぶ集い」が津山市の苅田家菩提寺、妙法寺本堂で行われました。

岡山市在住で苅田家と親せきになる定広夫妻が資料にもとつき、苅田家のこと、アサノさんの生い立ち、そして日本共産党の常任活動家として美作地区党結成のとりくみ、衆院議員、党中央婦人部長としての活動のことなどを語りました。

顔立ちがそっくりの定広桂子さんが補足するなど「苅田アサノさん」の実像に迫るものがあり、人柄が偲はれました。

参加された方々はそれぞれに「苅田アサノさん」とのかかわり、ご縁をお話しになりました。津山市で上映された「わが青春つぎるともー伊藤千代子の生涯」と同じ時代を闘った治安維持法犠牲者であり、「戦後も国会議員、党中央委員として活躍した苅田アサノさんの活動を顕彰し、津山の誇り」としてもっと多くの人々に知ってもらう手立てが必要だ」との声にみなさんが「そうだ」と頷ついたことが大変、印象的でした。





# 映画「わが青春つきるとも」伊藤千代子の生涯」を觀賞して

「森近運平を語る会」 森山誠一

三月三日、笠岡市「サンライフ笠岡」で上映された「わが青春つきるとも」伊藤千代子の生涯」。午前、午後の2回上映で八〇人を超える方々が觀賞した。上映実行委員会のみなさんの努力、奮闘で一三八名の方が「製作・上映協力」をして下さった。「臨時会長」を引き受けていた私はほっとしている。お世話になりました。

同時に私の心配は戦中、戦前の経験のない世代が「治安維持法体制」のもとで勇敢に闘い、若い命を犠牲にした「伊藤千代子さんたちの生涯」を映像にしたこの内容、真意が伝わるだろうか？という先憂だった。

「特高警察」「3.15事件」そして神権天皇制の「帝国憲法体制」など。事実、映像の深刻な展開の真意（歴史的意義）をどれだけ汲みとることができるだろうか。映画監督の実績のある親しい方に尋ねてみると「映画の觀賞は（ド

森近運平を語る会」 森山誠一  
キュメンタリーであれ、劇映画であれ事前学習なしに虚心坦懐に、自分の視聴覚をもって臨めば、それでよい」という返事があった。しかし「教育派」の私としては、やはりこの「映画鑑賞」を機会に「日本近現代史の暗部」に関心を抱いて、新たに問題意識を高める契機にしていたきたい。そこで私の手元にある参考文献をいくつか紹介したい。



森近運平歌碑

- 「荻野富士著『特高警察』同『思想検事』、
- 「小野雅章著『教育勅語と御真影』
- 「近代天皇制と教育』（講談社現代新書）2023）
- 「辻田真佐憲著『戦前』の正体—愛国と神話の日本近現代史—」（同2023）

ところで伊藤千代子たちが参加した「社会科学研究会」は当時の日本社会の貧困、社会の歪みを構造的に解明しようとする学習サークルであった。学習と運動は今も車の両輪である。その学習活動の基礎があったからこそ、解放運動に自己の信念を貫徹できたと思う。とはいえ「転向」・「非転向」の問題は今なお、議論の残るところである。「卑怯者さらば去れ」と切り捨てることでは到底、解決できない。近現代日本の社会倫理思想上の深刻な問題をほらんでいると筆者は考える。

映画の中の「転向者」の描写、掘り下げがさらにあると「もっと感銘深い作品になったのでは」と惜しまれる。

## 3月 事務局日誌

- 2日 中国5県会長・事務局長 会議
- 3日 笠岡市「わが青春つきるとも」—伊藤千代子の生涯」上映会
- 7日 美作支部役員会  
玉野支部役員会
- 8日 「不屈」発送作業
- 10日 笠岡市「市政を語る春の集い」
- 11日 岡山支部役員会
- 12日 児島重税反対集会  
備南支部役員会
- 13日 倉敷、玉島重税反対集会  
西大寺重税反対集会
- 16日 倉敷民商支援倉敷駅前  
宣伝/映画「武器なき戦い」上映会
- 20日 赤磐市「市田忠義と党を語る会」
- 21日 倉敷民商支援「事務局会議」
- 26日 「櫛屋裁判第五回地裁公判
- 27日 同盟「四一回大会議案」討議
- 30日 笠岡市大平よしゆの講演会